

茨木市の指定文化財

茨木市指定文化財（有形文化財 考古資料）

じんめんつきどき 人面付土器



- ◇所在地 茨木市東奈良三丁目12番18号（茨木市立文化財資料館）
- ◇指定番号 考古資料第4号
- ◇指定年月日 平成12年5月1日

目垣遺跡内の弥生時代中期前半(B. C. 300～400年頃)の溝の埋土から出土しました。

頸部から下を欠損しており、耳の一部と頭髪を表したと考えられる粘土帯の一部も欠けています。顔面はやや平坦に表し、眉と鼻は隆起させ、顎は三角状に尖らせています。目、口はヘラ状の工具で穿ち、内部まで貫通しています。両耳には、ピアス状のものを付けていたと考えられ、小孔が認められます。

類例は、全国的にも少なく、近畿地方では最初の例と言えます。

寸法

残存長：7 cm 顔面長：約4 cm